

先進医療について

【先進医療とは？】

未だ保険診療として認められていない先進的な医療技術等について、安全性・有効性を確保するため施設基準等を設定し、保険診療と保険外診療との併用を認め、将来的な保険導入に向けた評価を行う制度のことを言います。しかしすべてのケースで確実な成果が得られるとは言えず、効果には個人差があります。それ故、必ずしも妊娠率や流産率が向上するわけではありません。

厚生労働省の先進医療リンク



当院で実施可能な先進医療技術は下記になります。
ご希望の場合は、医師にご相談ください。

【先進医療を受けた場合の治療費の概要】

公的医療保険の対象外で、全額自己負担となりますが、保険診療との併用が可能です

「健康保険適応の診療」		「先進医療」
7割 健康保険が負担	3割 自己負担	全額自己負担
		この部分が自己負担

自治体により、先進医療の助成金制度を実施しています。
助成の内容や申請に必要な書類などは、各市区町村の自治体によって異なります。
助成金を申請する際は、お住まいの市区町村にある保健所・市役所へお問い合わせください。
また、ご自身が加入されている医療保険の「先進医療特約」でカバーできる場合があります。

技術内容	先進医療技術名	技術の概要（詳細については各説明書をご参照ください）	適応症	金額
胚の発育環境を改善し良い胚を作るための技術	タイムラプス	培養器に内属されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく正確な胚の評価が可能となる技術	当院ではART症例全例に実施しています	¥22,000
	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術（PICSI）	ヒアルロン酸を含有する培養液を用いて、成熟精子の選択を行う技術	初回から実施可能	¥22,000
良好な精子を選別するための技術	膜構造を用いた生理学的精子選択術（Zymot）	特殊な膜フィルターを用いて、状態が良く、運動性の高い精子を最低限のダメージで選別する技術	1回以上ICSIを行い、ICSIによる反復流産や反復着床不全が認められる	¥22,000
	子宮内膜刺激術（SEET）	胚培養液を胚移植数日前に子宮内に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術	初回から実施可能	¥33,000
子宮内の着床環境を改善するための技術	子宮内膜擦過術（スクラッチ）	胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜に小さな傷をつけ、着床しやすい環境を整える技術	反復着床不全	¥11,000
	子宮内膜受容能検査（ERA）	子宮内膜組織の遺伝子を解析して最適な移植時期を特定する技術	反復着床不全	¥14,3000 2回目以降割引あり
	子宮内細菌叢検査（EMMA/ALICE）	子宮の細菌環境が胚移植に適した状態であるのか、その菌の種類の組成を調べる検査	初回から実施可能	¥66,000 2回目以降割引あり
	TRIO	ERAとEMMA/ALICEのセット検査	反復着床不全	¥20,3500 2回目以降割引あり
	二段階移植（新鮮胚移植）	採卵2～3日後に初期胚を移植し内膜の着床環境を整え、その後胚盤胞になった胚を採卵後5～6日目に時間差で移植する技術	反復着床不全でSEET法を一回以上実施している	¥82,500
	二段階移植（凍結融解胚移植）	子宮内膜を調整後、凍結しておいた初期胚を融解移植し内膜の着床環境を整え、その2～3日後に凍結胚盤胞を融解移植する技術	反復着床不全でSEET法を一回以上実施している	¥121,000
不育症の検査	抗ネオセルフβ2グリオブロテインⅠ複合体抗体検査	不育症の原因を調べる検査	2回以上の流産の既往歴がある不育症	¥38,500